

三重県公立小中学校教頭会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は三重県公立小中学校教頭会と称する。
- 第2条 本会の事務局を津市桜橋二丁目142三重県教育文化会館におく。
- 第3条 本会は教頭職の立場から、学校管理運営について研修し、その識見を高め、学校教育の振興に寄与するとともに、会員相互の福祉を増進することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 学校管理運営についての研究
 2. 教頭職の在り方と福祉増進についての研究
 3. 研修会、見学研修等の開催
 4. 会員の連絡及び情報交換、親睦
 5. その他目的達成に必要な事項

第2章 組 織

- 第5条 本会は三重県内各郡市公立小中学校教頭会をもって組織する。
- 第6条 本会は次の役員をおく。
1. 会 長 1名
 2. 副会長 3名
 3. 書 記 2名
 4. 会 計 2名
- 以上を本部役員という。
5. 理 事 20名程度
 6. 地区協議会長 6名
 7. 顧問会 若干名
- 第7条 役員の仕事は次のとおりにする。
1. 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
 2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代理する。
 3. 書記は、議事録を作成し、諸会合の通知を発送する。
 4. 会計は、一切の収支ならびに、その出納にあたる。
 5. 理事は、各単位教頭会を代表し、会務を審議する。理事のうち6名は、地区協議会長を兼務する。
 6. 地区協議会長は、各地区内の連絡調整にあたる。
- 第8条 役員を選出は次の通りとする。
1. 本部役員は、理事会において会員の中から選出し、総会の承認を得る。
 2. 理事は、各単位教頭会に於いて1名を選出する。但し、事情により多少増減することができる。
- 第9条 役員の仕事は、1年とし再任を妨げない。補充役員の仕事は前任者の残任期間とする
- 第10条 本会には次の機関をおき、会長がこれを招集する。
1. 総会 2. 理事会 3. 本部役員会 4. 専門部会
- 第11条 総会は最高の決議機関で、定期総会は年1回開催する。
- 但し、理事会が必要と認めたときは臨時総会を開催することができる。

第3章 機 関 (会 議)

第12条 総会に付議することは次の通りである。

1. 会務及び決算報告、事業ならびに予算の審議承認
2. 本部役員ならびに会計監査の承認
3. 会則の変更
4. その他重要事項の審議

第13条 総会の議事は、出席会員の過半数によって決める。

第14条 理事会は、本部役員と理事をもって構成し、次のことを行う。

1. 総会からの委任事項
2. 本部役員、会計監査の選出
3. 総会に提出する議案の審議
4. その他重要な事項の審議

第15条 本部役員会は、本部役員をもって構成し、次のことを行う。

1. 事業の計画と執行
2. 理事会に提出する議案の作成
3. その他の事務の処理

第16条 専門部会は、本部役員と理事の中から委嘱された部員をもって構成し、事業の計画と執行にあたる。

第17条 本会に理事会の承認を得て顧問をおくことができる。

第18条 本会に事務局をおく。事務局規定については別に定める。

第4章 会 計

第19条 本会の経費は、負担金またはその他の収入をもってあてる。

第20条 本会の負担金は総会で決定する。

負担金は研修費、活動費とする。

第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる

第5章 会計監査

第22条 会計監査は、理事会において会員中から3名を選出し、総会の承認を得る。

第23条 会計監査は、会計のすべてにわたり監査して総会において報告する。

第24条 会計監査の任期は、役員に準ずる。

第6章 付 則

第25条 本会の運営上の必要な細則は、理事会で別に決める。

第26条 本会則は、昭和44年5月16日から施行する。

- | | |
|------|------------|
| 一部改正 | 昭和53年5月12日 |
| 一部改正 | 昭和54年5月15日 |
| 一部改正 | 昭和55年5月 6日 |
| 一部改正 | 平成 2年5月11日 |
| 一部改正 | 平成12年4月 1日 |
| 一部改正 | 平成19年5月11日 |

運営資金取扱規定

第1条 三重県公立小中学校教頭会(以下[本会]と称する)の運営資金(以下[資金]と称する)の取扱は、この規定の定める通りとする。

第2条 この資金は、本会の目的を達成するのに必要な基盤を強固にし、事業の有効な完遂を図ることをもって目的とする。

第3条 この資金は、特別会計とし、本会会長が管理し、その執行は理事会・役員会の提案または勧告による。この資金の使途は、次の各号に定めるものに限る。

- ・ 本会の目的達成に必要な緊急要請活動に関する経費
- ・ 本会の目的達成に必要な研修・福祉および厚生等に関する経費
- ・ 本会の一般会計における一時立替に要する経費
- ・ その他理事会・総会で決定した経費

第4条 この資金の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第5条 この資金は、本会会則第20条に定める会計監査を受けて総会において報告する。

第6条 この規定は平成14年4月1日より施行する。

一部改正 平成19年5月11日

旅 費 規 定

第1条 本会の活動に伴う旅費規定を次のとおり定める。

- 1 県費旅費を支給されない会議等への出席の場合は、住所または勤務校からの実費を支払う。
- 2 宿泊の必要あるときは宿泊費を支払う。
- 3 本会の諸活動に従事したときは、食事代を支払う。

《 参 考 》 年間納入金一覧

1. 負担金(会員一人当たり)

全国教頭会費	4,600円
東海北陸地区教頭会費	1,000円
県教頭会費	18,900円
県慶弔費	500円

合 計 25,000円

2. 年度新会員(上記以外に)

全国教頭会運営基金寄付	6,000円
-------------	--------

慶弔規定

- 第1条 三重県公立小中学校教頭会の会員に慶弔慰あるときは、この規定による。
- 第2条 各理事は、本規定の該当者があるときは会長に報告し、その報告をもとに、会長は次の条の規定により処理し、理事会に報告する。
- 第3条 会員の慶弔は次の基準による。
- (1) 会員死亡の場合
会葬し、弔慰金50,000円と供花供物(相当額)を送る。
 - (2) 会員退職の場合
感謝状と記念品を贈る。
 - (3) 会員傷病の場合
傷病による欠勤が連続1ヶ月以上、または休職に及ぶとき、見舞金10,000円を贈る。
 - (4) 会員の勤務校が大きな災害を受けた場合
会員に、見舞金10,000円を贈る。
 - (5) その他、(1)～(4)以外で必要と認められる慶弔慰については、会長において処理し、理事会に報告する。
- 第4条 この経費は特別会計とし、必要に応じ会員より拠出する。
- 第5条 この経費の一部を支援金の財源として拠出する。拠出する金額については、本部役員会、理事会で決定し、定期総会で承認を得る。
- 第6条 この規定の改正は、理事会で審議し、総会で決定する。
- 第7条 この規定の会計は、毎年度末に監査委員の監査を受けて、総会の承認を得る。
- 第8条 この規定は、昭和42年4月1日より施行する。
- | | |
|------|------------|
| 一部改正 | 昭和52年4月1日 |
| 一部改正 | 昭和55年5月6日 |
| 一部改正 | 昭和62年5月8日 |
| 一部改正 | 平成元年5月12日 |
| 一部改正 | 平成19年5月11日 |
| 一部改正 | 平成24年5月11日 |

三重県公立小中学校教頭会本部役員選出内規

1. この内規は、三重県公立小中学校教頭会本部役員選出にかかる内規である。
2. 本部役員並びに会計監査委員の選出は、県教頭会役員選考委員が中心になりこれを行う。
3. 本部役員並びに会計監査委員の選出のための選考委員は、ブロックから1名と本部役員から2名(会長・総務部担当者)により構成する。
4. 選考委員の中から委員長・副委員長各1名を互選する。
5. 本部役員と定員は次による。

会 長	1 名
副 会 長	3 名
書 記	2 名
会 計	2 名

6. 本部役員選考のためのブロック並びに候補者数は次のように取り決める。

北勢ブロック	2 名
津 ブロック	2 名
松阪ブロック	1 名
南勢・志摩ブロック	1 名
伊賀ブロック	1 名
紀北・紀南ブロック	1 名

7. 本部役員の役職は、立候補者の互選により決定する。
8. 役職については人物を第1とし、地域ブロックに拘束されず選考する。
9. 会計監査委員は、ブロック持ちまわりとする。

3 0 年	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年
伊 賀	津	伊 賀	津	伊 賀	津
紀北紀南	松 阪	紀北紀南	松 阪	紀北紀南	松 阪
北 勢	南 志	北 勢	南 志	北 勢	南 志